

第28回 新入社員研修講座

会社組織の基本から正しい仕事のすすめ方、コミュニケーションの取り方、ビジネスマナーの習得まで徹底指導します。グループワークとロールプレイングを取り入れ、実践型プログラムで、即戦力を身につけます。



〈2日間コース〉

平成29年4月4日(火)～5日(水)
 AM9:30～PM5:00
 アクトシティ浜松研修交流センター
 4日 401・402会議室
 5日 404・405会議室
 ◆3月をご希望の際は、一度お問い合わせください。

1社単位の新入社員研修も承っております。日程等ご相談下さい。

実績
308社 1753名が受講！

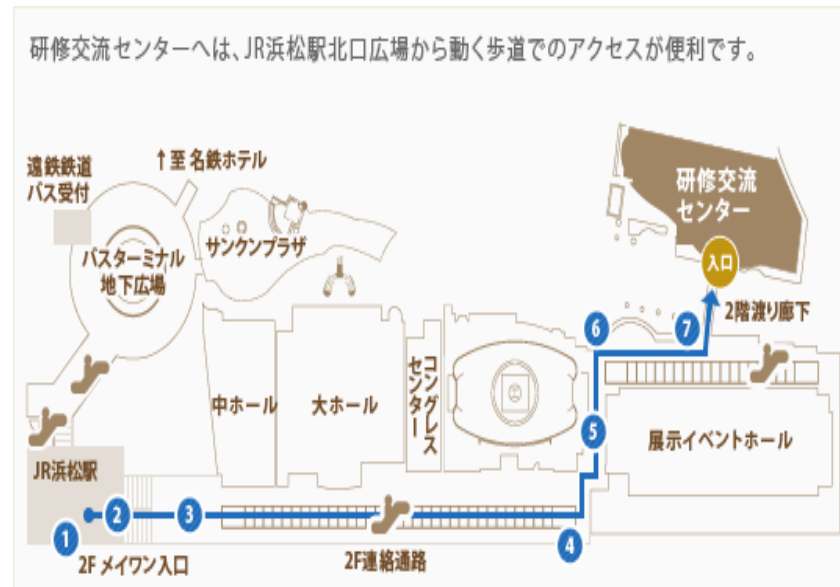
ぜひ中身をご覧ください→

- 参加の際は筆記用具をご持参下さい。
- 服装は、社会人としての自覚を促すためにも、スーツ、または制服の着用をお願いします。



公開講座のご案内は、エスエスブレインHPをご参照下さい → <http://www.ss-brain.com/>

◆会場地図（アクトシティ浜松研修交流センター）



◆受講料 37,800円（消費税込）
 テキスト代・昼食代を含みます

◆定員 各クラス20名

◆申込み方法

下記申込書に記入し、FAXにてお送りください。折り返し弊社より確認のお電話を入れさせていただきます。お電話でお申込みの場合も、お手数ですが同時に申込書をお送りください。申し込まれた方が参加できない場合は代理の方がご出席くださっても結構です。

◆支払い方法

受講料は下記口座へ開催一週間前までにお振込みください。なお、別途請求書が必要な場合はお知らせ下さい。

振込先 浜松信用金庫 ^{かみしま}上島支店
 普通口座番号 0026610
 株式会社エスエスブレイン

◆お問合わせ

企業の人材育成に強い会社

 Strategic System Brain

株式会社エスエスブレイン
 〒430-0901 静岡県浜松市中区曳馬 6-25-36
 TEL ■053-474-3178 FAX ■053-474-6855 E-mail ■ss-brain@ss-brain.com

----- 切り取り線 -----

第28回 新入社員研修講座 <申込書>

(フリガナ) 会社名				TEL
(フリガナ) 住所	〒			FAX
				E-mail
参加者氏名(フリガナ)	所属部署	年齢	貴社の業種・業態	
			《申込責任者》	
			役職名	
			氏名	

◆3月をご希望の際は、一度お問い合わせください。

エスエスブレインあて (TEL 053-474-3178・FAX053-474-6855・E-mail ss-brain@ss-brain.com)

新入社員研修講座

研修のねらい

- ◆ 学生から社会人になる前の不安を取り除き、社会人・組織人として必要な意識と考え方を身につけます
- ◆ 仕事の基本をしっかりと理解した上で、担当業務を1日も早くマスターし、レベルアップしようとする姿勢と行動力を養います
- ◆ 会社の代表として電話応対や来客応対ができるよう、ビジネスマナーの基礎を実習により徹底的に習得させます
- ◆ 自ら積極的に行動し、戦力となる社員の基礎を創ります。会社から何を期待されているのかを理解しようとする姿勢を創ります

この研修のねらいやスケジュールを伝え、受講生に自己紹介をしてもらう中で、この研修に対する参加意欲を高めていきます。

「会社の目的」「企業組織の構成」を伝えます。また、働くということ、給料をもらうということはどういうことなのか等を経営者の視点から経営者の代理として伝えます。このようなことを伝えて欲しい等のご要望がございましたら研修に反映させますのでぜひお申し出下さい。



会社の人たちに受け入れてもらうにはどんな事に注意して仕事をしていったらよいのか。その具体的な方法をお伝えします。

教育ゲームを用い、コミュニケーションの重要性(情報発信・情報の共有化の大切さ)や協業と分業について、体験学習します。

社会人の基本として、新聞を読むことを実践していただきます。

第1日

9:30 開講 オリエンテーション

1. 新社会人の基本
- ① これからの経営環境
 - ② 会社組織の基本
 - ③ 社会人としての行動と責任
 - ④ あいさつの重要性
- (自己紹介・講義・個人研究)

12:00

昼食

13:00

2. 職場の戦力になろう
- ① 仕事を早くマスターしよう
 - ② 指示の受け方
 - ③ P-D-C-A
 - ③ 報告・連絡・相談
- (講義・グループ討議)

3. 組織人としてのコミュニケーション
- ① コミュニケーションゲーム
 - ② チームワークとコミュニケーションの取り方
- (講義・事例研究・グループワーク)

17:00

宿題

新聞を読んで記事の中から自分の会社や仕事に影響が大きいと思うものを選び、まとめる

第2日

- 9:30
- 4. スピーチ実習
 - 5. 言葉づかい

6. 電話応対をマスターする
- ① ビジネス電話の基本応対
 - ② 正しいかけ方と受け方
 - ③ 伝言を頼まれたら
- (講義・実習)

12:00

昼食

13:00

7. ビジネスメールの基本マナー
8. 来客応対と訪問マナー
- ① 来客の受付・案内
 - ② 名刺の取り扱い
 - ③ 応接室でのマナー
 - ④ 席次の知識
 - ⑤ 訪問先でのマナー

9. 入社後の目標と行動
- ① 厳しい日本経済の中で
 - ② 目標と計画的行動の重要性
 - ③ 報告書の作成
- (講義・個人研究・全体発表)

17:00

閉講

研修終了後、報告書をまとめて送付いたします。今後の指導育成にお役立て下さい。

宿題シートをもとに前に出てプレゼンテーションを行います。発表内容・態度・姿勢等について講師がコメントします。ビジネスで必要な言葉づかいを学びます。

- 明るく気持ちの良い電話応対が出来るようにいたします。
- 実際に電話機を用いて一人ひとり全員に実習を行い、基本応対を習得します。電話の出方は御社の出方で練習します。
- 正しい敬語で応対が出来るようにいたします。

- ビジネスメールの基本を学びます。
- お客様に好感を持たれる来客応対ができるようにいたします。
- 正しいお辞儀ができるようにいたします。
- 名刺セットを用意し、名刺の受け方・出し方・名刺交換が出来るようにいたします。
- 応接室・タクシー等の上座からの席順を理解します。
- 正しいお茶の接待を身に付けます。

研修のまとめとして自己啓発計画表を作成し、今後の目標を2つ立てます。御社での今後の育成の目安にして下さい。



◆ 私たちが新入社員研修講座を担当します

鈴木 ゆかり (Yukari Suzuki)

学生から社会人への変化は、人生の中でも特に大きな変化になります。会社の中にスムーズにとけ込み、先輩や上司にかわいがってもらうことは、長い職業人人生のスタートでとても大切なことです。新入社員の心構えからあいさつ、ビジネスマナーまで実習中心に行い、会社ですぐに実践できるよう、ていねいに指導いたします。



関 美分 (Miwaki Seki)

私は社内でも新人指導をしています。新人に知っておいてほしい心構えなどは、最初に伝えています。このことを知っているのと知らないのでは、大きな違いがあることを私は経験してきました。会社にとって大事な人財である新入社員が、その会社で力を発揮できるよう企業人としての基礎をしっかりと伝えてまいります。



【受講生の声】

- 日頃のマナー、挨拶、言葉づかいがどれだけ大切かを頭で理解するだけでなく、体全体で身につける事が出来た。社会人は自分の努力次第で伸びていける素晴らしさにも気付けた。他社の新入社員の方々とも意見を言い合うなどの交流が出来、充実した研修になった。(食品加工業 男性)
- 仕事をするにあたって素直な心で受け入れること、能動的、自発的に行動することが大切だと気づきました。電話対応など、メモを取るが大変だったり、適切な言葉が出てこなかったりしましたが、回を重ねるごとに徐々にできていくのが分かり、成長する楽しさを感じました。(産廃業 女性)
- 今回の研修では、社会人として必要なこと、積極的な行動についてとてもよくわかりました。行動に移すことによって、相手に内容を理解していることを示すことになると改めて実感しました。社会人としての目上の方との付き合い方も学びました。言葉づかいで相手を安心させたり不安にさせたりする例をよく理解できました。(内装仕上工業 男性)

- 研修を終えて、一番に身に付いたことは自信です。社会人と学生との違いから、PDCA サイクルを意識する方法、電話応対・お茶の出し方など、特に不安を感じていたところを練習でき、社会人としての一歩を踏み出せたような気がします。(自動車販売整備業 女性)
- 学生は自由時間が多く小さな失敗でも許されていましたが、社会人は小さな失敗でも連帯責任につながっていくことに気づきました。1日目の研修で、チームワークを確かめるゲームをしました。時間がかかってしまいましたが、最初に計画を立てることの大切さに気づきました。自分から積極的に行動することが大切で、チャレンジしていきたいと思いました。(食品加工業 女性)
- 2日間の研修に参加してみて、まだ学生気分が抜けていない自分に社会人としての自覚が出てきました。実際に会社で使う作法を教えてください、社会人と学生の大きな差を知ることができました。この研修で社会人としての基礎ができたのではないかと思いますので、この基礎を忘れずに今後の仕事に大いに生かしていきたいと思いました。(製造業 女性)